

●2014年10月1日「くらしの学び庵：孤立防止のための互助・自助強化プログラム開発研究プロジェクト〔初級1期目第1回〕」(於：風伝館／京都市上京区)。講義：青山朋樹(京都大学大学院医学研究科)「毎日できる運動で衰え知らず!」、意見交換会、挨拶：吉川左紀子、熊野英介(風伝館館長・アマタグループ代表)。司会：清家理。共催：京都大学大学院医学研究科人間健康科学専攻近未来型人間健康科学融合ユニット、公益財団法人信頼資本財団、後援：アマタグループ、京都信用金庫、京都大学医学部附属病院。

●10月2日 第27回身心変容技法研究会+こころ観研究会(於：稲盛財団記念館3階大会議室)。発表：濱田覚(京都大学大学院教育学研究科博士課程3回生、教育哲学)、総合討論。司会：鎌田東二。

●10月6日 第3回京都大学ヒマラヤ宗教研究会(於：稲盛財団記念館2階225会議室)。発表：小西賢吾「フィールドからみるボン教研究——ボン教の地域性に着目して」。

●10月12日「支える人の学びの場 こころ塾2014 仙台」(於：仙台国際センター)。挨拶：吉川左紀子、講演：乾敏郎(京都大学大学院情報学研究科)「発達する脳内ネットワークと発達障害」、明和政子(京都大学教育学研究科)「心の発達の定型・非定型を考える」、事例報告と討議：加藤寿宏(京都大学大学院医学研究科)、小松則登(愛知県心身障害者コロニー中央病院)、嶋谷和之(大阪市更生療育センター)、乾敏郎、明和政子、吉川左紀子(司会)。共催：京都大学大学院医学研究科脳機能リハビリテーション学分野発達障害系研究室、後援：東北文化学園大学。

●10月15日「くらしの学び庵：孤立防止のための互助・自助強化プログラム開発研究プロジェクト〔初級1期目第2回〕」(於：風伝館)。講義：荒井秀典(京都大学大学院医学研究科)「老化

と病気の予防で錆知らず!」、意見交換会、よろず相談会(医療：荒井秀典、心理：吉川左紀子、法律：小山秀司)。司会：清家理。

●10月30日 第28回身心変容技法研究会+こころ観研究会(於：稲盛財団記念館3階大会議室)。発表1：今福龍太(東京外国語大学大学院教授／文化人

類学)「身心変容技法と歌・芸能」、発表2：安田登(能楽師・ワキ方)「くわいの身心変容技法」。司会：鎌田東二。

●11月2日「支える人の学びの場 先生のためのこころ塾2014」Bコース第1回(於：稲盛財団記念館3階大会議室)。講義：乾敏郎(京都大学大学院情報学研究科)「身体性の脳内機構：身体でわかることの大切さ」、宇野彰(筑波大学人間総合科学研究科)「発達性読み書き障害とその支援」、実践報告：田村綾菜(愛知県コロニー発達障害研究所)、小川詩乃(京都大学大学院医学研究科)。司会：吉川左紀子。

●11月5日「くらしの学び庵：孤立防止のための互助・自助強化プログラム開発研究プロジェクト〔初級1期目第3回〕」(於：風伝館)。講義：幣憲一郎(京都大学医学部附属病院)「毎日できる栄養管理で病気知らず!」、意見交換会。司会：清家理。

●11月8日「支える人の学びの場 先生のためのこころ塾2014」Bコース第2回(於：稲盛財団記念館3階大会議室)。講義：乾敏郎(京都大学大学院情報学研究科)「他者を知り、共鳴する脳と発達障害」、黒川嘉子(奈良女子大学生活環境学部)「プレイセラピーの中で向き合う現実」、実践報告：村上公也(元京都市立小学校特別支援学級教員)。司会：吉川左紀子。

●11月9日「支える人の学びの場 医



上京区の町家「風伝館」で開かれた「くらしの学び庵：孤立防止のための互助・自助強化プログラム開発研究プロジェクト」

療専門職のためのこころ塾2014」第1回(於：稲盛財団記念館3階大会議室)。講義：乾敏郎(京都大学大学院情報学研究科)「1歳までの認知発達の神経基盤」、明和政子(京都大学大学院教育学研究科)「心の発達の定型・非定型を考える」、事例報告：石原詩子(京丹波町子育て支援課)。司会：吉川左紀子。

●11月13日 第29回身心変容技法研究会+ワザ学研究会(於：稲盛財団記念館2階225室)。テーマ：「東アジアシャーマニズムと現代文化と身心変容技法」。発表1：金香淑(目白大学准教授／文化人類学・韓国シャーマニズム研究・比較文化論)「現代韓国におけるシャーマニズムと『癒し』の実態」、発表2：アルタンジョラー(ワザ学共同研究員／文化人類学・モンゴルシャーマニズム研究)「いまを生きるモンゴル・シャーマニズム——ワザを中心として」。司会：鎌田東二。

●11月16日「支える人の学びの場 医療専門職のためのこころ塾2014」第2回(於：稲盛財団記念館3階大会議室)。講義：乾敏郎(京都大学大学院情報学研究科)「高次認知機能と身体性」、渡邊克巳(東京大学先端科学技術研究センター)「認知科学からみた発達障害」、事例報告：嶋谷和之(大阪市更生療育センター)。司会：吉川左紀子。

●11月17日 第36回こころの未来セミナー「Death and Dying East and West :



「支える人の学びの場 こころ塾2014 仙台」(2014年10月12日)

東洋・西洋における死と臨終」(於：稲盛財団記念館3階大会議室)。講演：Tony Walter (University of Bath Centre for Death & Society)。司会：カール・ベッカー。

●11月17日 第4回京都大学ヒマラヤ宗教研究会(於：稲盛財団記念館2階225会議室)。発表：小西賢吾「フィールドからみるボン教研究——ボン教の地域性に着目して part.2」。

●11月19日 「くらしの学び庵：孤立防止のための互助・自助強化プログラム開発研究プロジェクト〔初級1期目第4回〕」(於：風伝館)。講義：吉川左紀子「健やかなところで暮らす知恵」、意見交換会、よろず相談会(医療：荒井秀典、心理：吉川左紀子、栄養：幣憲一郎、法律：小山秀司)。司会：清家理。

●11月20日・21日 科研 身心変容技法の比較宗教学 大荒行シンポジウム(於：稲盛財団記念館3階大会議室)。
[11月20日]「大荒行シンポジウム」1. 企画趣旨説明：鎌田東二、2. 吉野修験道の荒行(奥駈け)：田中利典(大峯金峯山修験本宗宗務総長・金峯山寺執行長)、3. 羽黒修験道の荒行(峰入り)：星野尚文(羽黒修験道松聖・所司役)、4. 熊野修験：那智四十八滝の荒行(青岸渡寺滝行)：高木亮英(西国三十三所一番札所那智山青岸渡寺副住職)、5. 日蓮宗遠壽院の100日荒行：戸田日晨(日蓮宗大荒行堂遠壽院住職・傳師)、6. コメント：倉島哲(関西学院大学教授/社会学)、7. 総合討論。司会：鎌

田 東 二。[11月21日]「『大荒行』身心変容技法研究会」1. 吉野修験道の荒行の検討：田中利典、コメンテーター：町田宗鳳(広島大学教授・僧侶)、小西賢吾、2. 羽黒修験道の荒行の検討：星野尚文、コメンテーター：棚次正和(京府立医科大学教授)

)、奥井遼、3. 日蓮宗の荒行の検討：戸田日晨、コメンテーター：津城寛文(筑波大学教授)、アルタンジョラー(ワザ学共同研究員)、4. 天台修験道の荒行(千日回峰行と十二年籠山行)と総合討論 発題：鎌田東二、コメンテーター：篠原資明(京都大学教授)、井上ウイマラ(高野山大学教授)、永澤哲(京都文教大学准教授) 5. 総合・総括討論 司会：鎌田東二。

●11月22日 「支える人の学びの場 医療専門職のためのこころ塾2014」第3回(於：稲盛財団記念館3階大会議室)。講義：乾敏郎(京都大学大学院情報学研究科)「言語・非言語コミュニケーションの神経機構」、熊田孝恒(京都大学大学院情報学研究科)「注意と学習による自動化」、事例報告：松島佳苗(京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻)。司会：吉川左紀子。

●11月23日 「支える人の学びの場 医療専門職のためのこころ塾2014」第4回(於：稲盛財団記念館3階大会議室)。講義：乾敏郎(京都大学大学院情報学研究科)「他者を知り、共鳴する脳と発達障害」、田中康裕(京都大学大学院教育学研究科)「発達障害と『三つの誕生』」、事例報告：小松則登(愛知県心身障害者コロニー中央病院)、修了証授与。司会：吉川左紀子。

●11月28日 学術広報誌『こころの未来』第13号刊行。

●12月3日 「くらしの学び庵：孤立防止のための互助・自助強化プログラム開発研究プロジェクト〔初級1期目第

5回〕」(於：風伝館)。講義：清家理「介護って何?」、意見交換会、よろず相談会(看護相談ゲスト：銘苺尚子・国立長寿医療研究センター地域医療連携室副看護師長、住江浩美・同退院調整看護師)。司会：清家理。

●12月4日 第5回ブータン文化講座「『関係性』から読み解くGNH(国民総幸福)」(於：稲盛財団記念館3階大会議室)。講演：上田晶子(名古屋大学大学院国際開発研究科准教授)、司会：熊谷誠慈。

●12月11日 第30回身心変容技法研究会+こころ観研究会(於：稲盛財団記念館3階大会議室)。テーマ：「身心変容技法と認知神経科学」発表1：藤野正寛(京都大学大学院教育学研究科教育認知心理学講座修士一回生)「瞑想の認知科学」、発表2：林紀行(大阪大学大学院医学系研究科生体機能補完医学講座助教・精神医学教室兼任)「マインドフルネス的観点からのトラウマケアとメタアナリシス」、司会：鎌田東二。

●12月17日 「くらしの学び庵：孤立防止のための互助・自助強化プログラム開発研究プロジェクト〔初級1期目第6回〕」(於：風伝館)。講義：田中聡(京都信用金庫業務部接客ていねい推進課)「老後の備えて? アリとキリギリス物語」、意見交換会、よろず相談会、修了式。司会：清家理。

●12月21日 京都大学こころの未来研究センター研究報告会2014「こころの未来——私たちのこころは何を求めているか」(於：稲盛財団記念館3階中会議室/ポスター会場：大会議室)。開会の挨拶：吉川左紀子、研究報告1：熊谷誠慈「こころ観の変遷とこころの未来：仏教学からみたこころ観の時代的展開と地域的展開」、研究報告2：畑中千紘「悩まないこころとの対話：臨床心理学からみたこころの現在」、ポスターセッション+休憩、研究報告3：吉川左紀子「こころの学際研究の『つなぐ』価値——こころの未来の『未来』に関する考察」、[ディスカッション] ディスカッサント：島菌進(上智大学

グリーンケア研究所所長)、増田寿幸(京都信用金庫理事長)、閉会の挨拶。司会：内田由紀子。

●12月21日 京都大学こころの未来研究センター上廣こころ学研究部門2014年度研究報告会「学びの経験と社会」(於：稲盛財団記念館3階大会議室)。センター長挨拶：吉川左紀子、来賓ご挨拶：丸山登(公益財団法人上廣倫理財団事務局長)、上廣こころ学研究部門の取り組み紹介：河合俊雄、研究報告1：清家理「学び合いから生まれる新たな価値と力——孤立防止のための互助・自助強化プログラム開発研究より」、研究報告2：奥井遼「身体的経験を通じた学びの豊かさ——淡路人形座における稽古場面より」、研究報告3：阿部修士「嘘つきはより嘘つきに——繰り返される誘惑には抗えないのか?」、[部門研究者による全体討論]モデレーター：鎌田東二、コメンテーター：熊谷誠慈、畑中千紘、福島慎太郎、梅村高太郎、閉会の挨拶：カール・ベッカー。司会：熊谷誠慈。

●12月25日・26日 こころの未来 脳科学集中レクチャー2014「脳損傷からみたこころ」(於：稲盛財団記念館3階大会議室)。講師：森悦朗(東北大学大学院医学系研究科高次機能障害学教授)。司会：阿部修士。

●2015年1月12日 京都府/京都大学こころの未来研究センター共同企画シンポジウム「ワザとこころ 能の伝承——稽古と修行と教育」(於：京都観世会館/京都市左京区岡崎)。開会挨拶：吉川左紀子、趣旨説明：鎌田東二、[第1部：能の稽古の伝承のトーク] 観世清河寿(観世流二十六世宗家)、観世三郎太、鎌田東二(司会)、[実演：舞囃子] 観世清河寿、観世三郎太、[第2部：シンポジウム]「能の伝承——稽古と修行と教育」 観世清河寿、観世三郎太、西平直(京都大学大学院教育学研究科教授/教育人間学)、河合俊雄。司会：鎌田東二。主催：京都府、京都大学こころの未来研究センター、後援：一般財団法人観世文庫、古典の日推進委員会、協力：公益社団法人能楽

協会京都支部、公益社団法人京都観世会、京都観世会館。

●1月15日 第31回身心変容技法研究会+ワザ学研究会(於：稲盛財団記念館2階225室)。テーマ：「身心変容技法と儀礼」。発表1：松平勇二(名古屋大学文学研究科博士研究員/文化人類学)

「ジンバブエの憑依儀礼における身心変容技法とンピラ音楽」、発表2：小西賢吾「祭りにおける『反復』と『興奮』にみる身心変容——秋田県角館の事例から」、司会：鎌田東二。

●1月17日 「くらしの学び庵：孤立防止のための互助・自助強化プログラム開発研究プロジェクト〔初級2期目第1回〕」(於：風伝館)。講義：青山朋樹(京都大学大学院医学研究科)「毎日できる運動で衰え知らず!」、意見交換会、挨拶：吉川左紀子。司会：清家理。共催：京都大学大学院医学研究科人間健康科学専攻近未来型人間健康科学融合ユニット、公益財団法人信頼資本財団、後援：アマタグループ、京都市、京都市教育委員会、京都信用金庫、京都大学医学部附属病院、研究大学強化促進事業「百家争鳴」プログラム、文部科学省地(知)の拠点整備事業(以下、同タイトル初級2期の共催、後援はすべて同じであるため記載省略)。

●1月22日 第32回身心変容技法研究会/第1回「身体哲学」研究会合同開催(於：稲盛財団記念館3階小会議室1)。趣意説明：奥井遼「Investigation for Philosophy of the body in Japan」、発表：ベルナル・アンドリュウ(Bernard ANDIEU, ルーアン大学教授/フランス身体哲学)「From Phenomenology to Emersiology: The birth of living body in the philosophical research in France among 1990」、コメンテーター：マルク・アンリ・デロッシュ(Marc-Henri DEROCHE, 京都大学白眉センタ



京都大学こころの未来研究センター研究報告会2014「こころの未来——私たちのこころは何を求めているか」(2014年12月21日)

ー助教/心の哲学・仏教思想)。

●1月24日 「くらしの学び庵：孤立防止のための互助・自助強化プログラム開発研究プロジェクト〔初級2期目第2回〕」(於：風伝館)。講義：幣憲一郎(京都大学医学部附属病院)「毎日できる栄養管理で病気知らず!」、意見交換会、よろず相談会。司会：清家理。

●2月12日 第33回身心変容技法研究会+ワザ学研究会(於：稲盛財団記念館3階大会議室)。テーマ：「身心変容技法とワザと身体」。発表1：奥井遼「身心変容技法と人形浄瑠璃の身体論——教育学の観点から」、発表2：河田(鈴鹿)千代乃(神戸女子大学文学部教授/日本文学・芸能研究)「筑紫舞・傀儡(くぐつ)舞と芸能とシャーマニズム」、発表3：鎌田東二「身心変容技法研究会総括——洞窟体験から始まるシャーマニズム・芸能・瞑想」。司会：鎌田東二。

●2月14日 「くらしの学び庵：孤立防止のための互助・自助強化プログラム開発研究プロジェクト〔初級2期目第3回〕」(於：風伝館)。講義：荒井秀典(国立長寿医療研究センター)「老化と病気の予防で錆知らず!」、意見交換会。司会：清家理。

●2月26日・27日 fMRI解析セミナー「resting-state fMRI」(於：稲盛財団記念館3階大会議室)。講師：河内山隆紀(株式会社ATR-Promotions, 脳活動イメージングセンタ)。司会：阿部修士。

●2月27日 熊谷誠慈准教授の出版記



京都観世会館で開催された京都府／京都大学こころの未来研究センター共同企画シンポジウム「ワザとこころ 能の伝承——稽古と修行と教育」(2015年1月12日)

念祝賀会がダムチョ・ドルジ ブータン王国内務大臣ご臨席のもと王立ブータン研究所(ブータン王国ティンプ市)にて開催される。著書名: Bhutanese Buddhism and Its Culture (Kathmandu: Vajra Publications, 2014)。

●2月28日 「くらしの学び庵: 孤立防止のための互助・自助強化プログラム開発研究プロジェクト〔初級2期目第4回〕」(於: 風伝館)。講義: 吉川左紀子「健やかなところで暮らす知恵」、意見交換会、よろず相談会。司会: 清家理。

●3月3日 内田由紀子准教授が第7回京都大学たちばな賞研究者部門を受賞。授賞式(於: 京都大学楽友会館)にて研究発表「文化と幸福——日本における関係志向的幸福についての文化心理学的実証研究」。

●3月4日・5日・6日 2014年度こころの科学集中レクチャー「こころの謎——遺伝から脳、そして主観へ」(於: 3/4、3/6 稲盛財団記念館3階大会議室、3/5 南部総合研究1号館・再生研西館1F共同セミナー室)。
〔3月4日〕講師: 下條信輔(カリフォルニア工科大学生物学・生物工学部教授、センター特任教授/認知科学、神経科学) 講義1: 「ポストディクシオン

(後付け再構成)、意識、自由意思」、講義2: 「クオリア(感覚の絶対質)とシェアド・リアリティ——『感覚代行』を入り口に」。
〔3月5日〕講師: 北山忍(ミシガン大学心理学部教授、文化・認知プログラム所長、センター特任教授/文化心理学、文化神経科学) 講義1: 「不協和の社会・生物モデル: 脳神経科学と動物行動学からの知見を中心に」、講義2: 「一般的他者のイメージと不協和: 文化脳神経科学のアプローチ」。
〔3月6日〕講師: 入來篤史(理化学研究所脳科学総合研究センターシニアチームリーダー、センター特任教授/神経科学、認知神経生物学) 講義1: 「ニッチ構築・境界と道具」、講義2: 「勤と心の曖昧さ・西洋科学と東洋文化の交差」。司会: 内田由紀子、阿部修士。

●3月5日 第34回身心変容技法研究会+京都伝統文化の森推進協議会公開セミナー(於: 稲盛財団記念館3階大会議室)。開催趣旨説明: 鎌田東二、基調講演1: 三宅一樹(彫刻家・元多摩美術大学非常勤講師・芸術学博士)「木彫刻のアニミズム」、基調講演2: 伊勢武史(生態学者・進化生物学者・京都大学フィールド科学教育研究センター准教授・PhD/ハーバード大学)「森の

自然と人のかかわり——生態学・進化生物学の視点)、総合討論。司会: 鎌田東二。

●3月6日 内田由紀子准教授が平成26年度日本農業普及学会奨励賞を竹村幸祐滋賀大学経済学部准教授(元センター特定研究員・現連携研究員)と共に受賞。

●3月14日 「くらしの学び庵: 孤立防止のための互助・自助強化プログラム開発研究プロジェクト〔初級2期目第5回〕」(於: 風伝館) 講義: 清家理「介護って何?」、意見交換会。司会: 清家理。

●3月21日 「孤立防止のための互助・自助強化プログラム開発」プロジェクト2014年度シンポジウム「超高齢社会を健やかに幸せに生きる」(於: 稲盛財団記念館3階大会議室)。開会挨拶: 吉川左紀子、趣旨説明: 清家理「くらしの学び庵と歩み『学びあいから生まれているもの』」、〈くらしの学び庵特別講義編〉講師: 坂本龍太(京都大学白眉センター特定助教)「ブータンからの叡智——幸せに生きるとは」、基調講演: 鳥羽研二(独立行政法人国立長寿医療研究センター総長)「こころも身体もすこやかに歳を重ねるとは」、くらしの学び庵Q&A編「幸せに歳を重ねるために必要なこと」、司会: 吉川左紀子、パネラー: 鳥羽研二、西窪一(京都市役所保健福祉局長寿社会部長)、田中聡(京都信用金庫業務部でない推進課副長)、坂本龍太、清家理、閉会挨拶: 荒井秀典(独立行政法人国立長寿医療研究センター副院長)。後援: 京都市、京都市教育委員会、研究大学強化促進事業「百家争鳴」プログラム、文部科学省 地(知)の拠点整備事業。

●3月28日 「くらしの学び庵: 孤立防止のための互助・自助強化プログラム開発研究プロジェクト〔初級2期目第6回〕」(於: 風伝館)。講義: 田中聡(京都信用金庫業務部接客でない推進課)「老後の備えて? アリとキリギリス物語」、意見交換会、よろず相談会、修了式。司会: 清家理。